

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422094	図画工作教育法 Drawing and Handycrafts Department of Education Act	松井素子		専門	2	選択	2後期

科目の概要

美術教育の内容領域や歴史、関連法令、学習指導要領・指導要録及び、指導に必要な発達段階に関する知識等、図画工作科教育に必要な諸相を取り上げ講義するとともに、図画工作科の題材に多く用いられる材料について実技的演習を行う。公立小学校の実践の児童作品を示しながら講義と演習を重ねることで、図画工作科の指導を行うために必要な美術教育に関する知識と技能を習得し、教材研究に係わる能力及び意欲を培い、教科指導のための基礎的能力を養い、指導案を作成し実践できることを目的とする。(DP②)

学修内容	到達目標
① 図画工作科の今日的課題や動向を理解する ② 美術教育と図画工作科教育の歴史と理念を理解する ③ 子どもを取り巻く諸問題と造形活動；美術・芸術・アートの動向について理解する ④ 図画工作科の学習指導要領の変遷（昭和）について理解する ⑤ 図画工作科の学習指導要領の変遷（平成・令和）について理解する ⑥ 図画工作科の構造や領域について理解し、学習指導要領にそった指導案を作成する	① 美術に係る教科・科目の構成と内容領域及び、その歴史と今日的課題を理解することができる ② 美術教育と図画工作科教育の歴史と理念を理解することができる ③ 子どもを取り巻く社会背景と造形活動、現代アートの動向について理解できる ④ 関係法規の内容を知り、学校教育の諸相の変遷と法的根拠を把握できる ⑤ 学校教育の諸相の変遷と法的根拠を、資質・能力及び造形的な見方・考え方の理解を含めて理解できる ⑥ 図画工作科の構造や領域について理解し、学習指導要領にそった指導案を作成できる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	文献資料を使い学修し、内容や構成を考え、レポート等を作成することができる。
	働きかけ力	学修内容に興味関心を持って取り組むことができる
	実行力	指定された内容や様式に従いながら的確に学ぶことについて積極的に取り組むことができる
考え抜く力	課題発見力	主観にとらわれず事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる
	計画力	レポート作成や指導案作成等で、見通しを持って最後まで粘り強く取り組むことができる
	創造力	既存の様式や形態等に捉われず、自分なりの価値観を持ち教材等を作成することができる
チームで働く力	発信力	得た知見を的確な文章で表現し、また、傾聴者を考えて、わかりやすい発表をすることができる
	傾聴力	教員の講義や他者の発表を正確に聞き取り、質問等を交えながら整理することができる
	柔軟性	協働的なアクティブラーニングを行う際、チームでの話し合い等に積極的に参加し、チーム全体に貢献できる
	状況把握力	場の雰囲気等をくみ取り、適切な発言や行動をし、また目標に向かって協力することができる。
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	チームにおける課題等に対して全体で共有して解決することで、ストレスコントロール力を身につけることができる

テキスト及び参考文献

教科書：文部科学省、『小学校学習指導要領（平成29年度告示）』、
 参考書：佐藤洋照・藤江充 著、『図画工作科指導法研究』、日本文教出版、2019
 樋口一成 編著 小学校図画工作の基礎 萌文書林 その他、授業内で適宜紹介します。
 材料費：500円程度

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：図画工作科研究

資格との関連：小学校教諭第1種普通免許状

学修上の助言	受講生とのルール
図画工作科の授業を考えるにあたり、まず自分自身の手を動かして、試行錯誤を繰り返しながら、自分の思いを表現する楽しさを体感してほしいと思います。図画工作科の学びを通して、楽しく豊かな生活を創造する活動を、探求していきましょう。	系統立てて行う内容がありますので、やむを得ず授業を欠席する場合は連絡をお願いします。実技を伴う学習内容においては、事前に必要な材料や道具をお知らせします。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト		0	①		⑥		
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート		40	①		⑥	✓	・独自の考えに基づいているか、構成は練られているか、適切な用語が使用されているかどうか等の観点で、それぞれのレポートを5段階評価する。
					②	✓			
					③	✓			
					④	✓			
					⑤	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓	⑥	✓	・作成したレポートや作品について、発表内容や用語の適切さ、明瞭さなどの観点で評価する。 ・作品制作に関する評価を適時行う。 ・最終課題である指導案作成と試作品を用いての発表を重視する。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の不提出などが顕著であれば減点する。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート、作品をすべて提出し、これらの完成度が高く、また指導案の発表内容が秀逸であり、出席状況がよいことがA（優）評価の条件となる	左に準じるレベルがB（良）評価となる。すなわち提出物や発表内容が水準を超え、かつ出席状況も良好なものがこの評価の対象である

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の目的や授業内容、試験やレポート、評価等について知り、学習の見通しを持つ。	講義及び演習(意見発表)	この科目の目的、内容や評価等について理解することができ、今後の学習への意欲をもつことができる。	(予習) 小学校で、心に残った図画工作科に関する活動について、想起しておいてください。 (復習) 振り返りシートの作成と提出。基本的には、授業の中で行うが、できなかった場合は、次週までに作成)	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	世界的な美術教育の変遷や、日本における図画工作科の歴史について理解する。	講義	美術教育関係教科・科目の構成と内容領域、教科名の変遷、歴史について理解することができる。	(予習) 美術教育の歴史について、理解を深めておく。 (復習) 振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	教育関係法規を概観し、重要な事項を理解するとともに、学校教育法と学校教育法施行規則に関してレポートを作成する。	講義及び演習 レポート作成	教育関係法規の必要部分の概略を理解し記憶することができ、適切なレポートを作成することができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) レポートを作成する。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	学校教育法と学校教育法施行規則についてレポートをもとに発表し、また、重要事項について理解・記憶する。 児童指導要録の内容と評価の観点等を知り、図画工作科の学習指導の評価を理解することができる。	発表 講義及び演習	適切な発表ができる。 学校教育法と学校教育法施行規則について理解・記憶できる。 小学校児童指導要録の構造と観点別評価の観点を理解・記憶し、併せて当該教科の学習評価の考え方を理解することができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	現行学習指導要領の目標や内容構造について理解し、歴代指導要領の変化について考え、レポートを作成する。	講義 レポート作成	学習指導要領の構成と内容を理解し記憶することができる。 レポート作成に意欲的に取り組むことができる。	(予習) 図画工作科の学習指導要領に目を通しておく。 (復習) レポートの完成。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	歴代学習指導要領の変遷について学び、現行の学習指導要領の記載事項について理解する。	講義及び演習	学習指導要領の記載事項を理解することができる。	(予習) 現行の学習指導要領(図画工作)を一読する。 (復習) 振り返りシートの作成と提出	60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習指導要領の記載事項であり、図画工作科の専門知識としての「造形要素」「色彩」「ICT活用」などに関する知識を得る。	講義及び演習	造形要素や色彩などに関する知識をについて理解することができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 振り返りシートの作成と提出	60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	学習指導案の構造・様式などを理解する。	講義及び演習	学習指導案の構造・様式などを理解し、作成することができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	美術に係わる教科の構成と内容領域を把握し、学習指導案の構造・様式などを理解する。	鑑賞活動に指導について、ピカソのゲルニカを例に学ぶ。	学習指導案の構造・様式などを理解し、作成することができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 授業の中で、レポートを完成することができなければ、次週までに完成させておく。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	学習指導案と試作品の作成	指導案作成と作品制作	意欲的に作品制作に取り組むことができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 作品を完成させておく。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	学習指導案と試作品の作成。	指導案作成と作品制作	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 作品を完成させておく。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
12	学習指導案と試作品の作成	指導案作成と作品制作	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 作品を完成させておく。振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	学習指導案の発表	試作品を提示しての学習指導案の発表	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習) 次回の授業内容について理解を深めておく。 (復習) 制作に関する振り返りシートを作成し、提出する。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	学習指導案の発表	試作品を提示しての学習指導案の発表	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習) 学習指導案の様式等について、参考資料を基に確認しておく。 (復習) 振り返りシートの作成と提出及び学習指導案の作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
15	導入部分を中心とした模擬授業を行い、終了後、授業内容や学習指導案について、グループでディスカッションをする。	発表・グループワーク	適切な授業の導入について、発表することができる。 図画工作の授業や学習指導案について理解を深めることができる。	(予習) 模擬授業の準備 (復習) 振り返りシートの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力